

目次

会社データ

社長挨拶	— 02
経営理念	— 03
会社概要・サービスセンター	— 04
群馬ヤクルトの歴史	— 06
ヤクルトの原点 代田イズム	— 11

ビジョン2035へ向けた活動

「共助社会の担い手」として	— 12
群馬ヤクルトのビジョンについて	— 13
一般社団法人 群馬県ポールウォーキング協会設立	— 14
Voice会議	— 16
ボイスの時間	— 17
マイスター制度の運用	— 18
子育て支援について	— 19
研修について	— 20
労働環境の整備	— 22
【トピックス】スポーツ社員の活動	— 23
全社横断プロジェクト	
└ ヤクルト子ども食堂プロジェクト2	— 24
└ スクール連携プロジェクト Season3	— 26
└ DXプラットフォームプロジェクト	— 28
└ 健康経営さくらMINTプロジェクト	— 30
地域連携の推進について	— 32
健康経営優良法人2025(ブライツ500)について	— 34
健康経営の推進について	— 36
健康教室について	— 40

部門紹介

2024年度 組織図	— 42
宅配サービス部／直販サービス部	— 43
未来価値創造部／人材開発部／総務部／DX推進部／広報部	— 44

報告 範囲

対象期間／2024年度
(2024年4月1日～2025年3月31日)
対象範囲／群馬ヤクルト販売株式会社

社長挨拶

共助社会の 担い手を目指して

はじめに、日頃より当社をご支持いただいているお客さま、お取引先さま、そして地域の皆さまに、心より感謝申し上げます。

近年、世界的な気候変動、AI技術の急速な進化、物価高騰など、社会経済環境は大きく変化しています。また、少子高齢化、医療費の増大や労働人口の減少といった課題がより深刻化しています。その中で、健康寿命の延伸や予防医療の重要性が、これまで以上に注目されるようになりました。こうした環境の変化に適応し、より多くの皆さまに「健康と美」をお届けすることが、私たちの果たすべき役割だと考えています。

2025年はヤクルト本社創業90周年、群馬ヤクルト創業70周年という、記念すべき節目の年となります。この長い歴史を支えてくださった全ての皆さまに、改めて深く御礼申し上げます。

当社はこれまで、お客さまや地域の方々、自治体、そして多くの関係者の皆さまと積極的な対話を重ねながら、健康社会の実現に向けた取り組みを進めてまいりました。単に「商品を提供する企業」ではなく、「人々の健康を支えるヘルスケアカンパニー」として、地域に根ざした活動を行い、社会的な課題解決に貢献することを使命としています。

■「群馬ヤクルト Vision2035」に向けた挑戦

当社は将来の「ありたい姿」を明確化し、「群馬ヤクルト Vision2035 《共助社会の担い手になる》 ～ヤクルトの普及を通じて社会的課題を解決する～」という長期ビ

ジョンを掲げました。これは、単に企業としての成長を目指すだけではなく、地域社会とともに歩み、共に成長しながら、社会的な課題を解決していくという強い意志を表したものです。

このビジョンの実現に向けて、新ビジネスモデル構築プロジェクトやプラットフォームとしての新たなコミュニティ作りとして、ポールウォーキング協会の設立や、こども食堂の運営などに取り組んでいます。

また、労働環境の整備として、サービスセンターの週休3日制の導入、全従事者を対象に専門性を軸にしたマイスター制度などの人事制度の導入・運用を進めています。これにより、一人ひとりがやりがいを持ち、自律的に成長できる環境を整え、従事者が自らのキャリアを主体的に築きながら、会社とともに成長できる仕組みを強化し、働きがいのある職場づくりを行っています。

■ お客さまとともに歩む未来へ

一人でも多くの方に「健康と美」をお届けすることを使命に、笑顔・信頼・感謝の心を大切にしながら、健康社会の実現に向け、これからも努力を重ねてまいります。

今後も、変わらぬご支援とご愛顧を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



2025年4月1日 群馬ヤクルト販売株式会社

代表取締役社長 塩谷 輝行

経営理念

私たちの使命

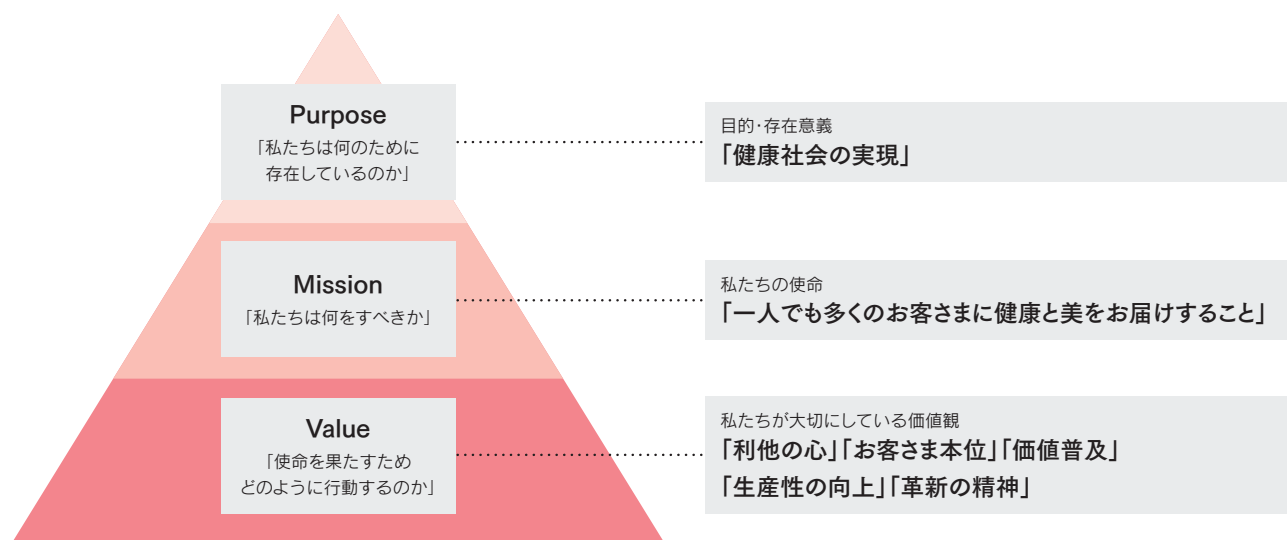
一人でも多くのお客さまに
「健康と美」をお届けすること

2024年度スローガン

基本を大切に！
～すべてはお客さまのために～

群馬ヤクルトのビジョン2035

「共助社会の担い手になる」～乳製品人口比20%を目指して～



会社データ

ビジョン2035

トピックス

全社戦略 ヘルスケアカンパニーへの進化とプラットフォーム型ビジネスモデル構築

私たちが大切にしている価値観

1

利他の心

真心を込めたサービスが
お客さまを幸せ(笑顔)にし、
私たちも幸せ(笑顔)にします。

2

お客さま本位

全てはお客さま(そのご
家族、地域の人々も含めて)
のために。お客さまの
身になって考え、行動する
ことで信頼関係を築きます。

3

価値普及

お客さまが求める価値を
知り、私たちが提供できる
価値(商品・人・会社)を
一人でも多くのお客さま
に必要とされる価値に
高めます。

4

生産性の向上

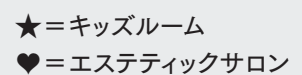
学び続けることで一人ひとりが
成長し、会社全体の成長に
繋がります。

5

革新の精神

ビジョン実現に向け、必要な
プロセスを革新し続け、
社会的課題を解決します。

部門紹介



会社概要

社名	群馬ヤクルト販売株式会社
所在地	〒371-0857 群馬県前橋市高井町1-7-1
電話番号	027-251-8960
創業	1955年6月
設立	1971年5月
代表者	代表取締役会長 本田博己 代表取締役社長 塩谷輝行
資本金	41,640千円
年商	74億3千万円（2023年度実績）

取引銀行	群馬銀行・三井住友銀行など
従事者数	895名（2025年2月末時点） 社員：243名 乳製品スタッフ：614名 化粧品スタッフ：38名
事業所	前橋本店 出張所2か所 サービスセンター33か所 エステティックサロン20か所 キッズルーム16か所
事業内容	乳製品乳酸菌飲料・清涼飲料・食品・ 化粧品の販売

サービスセンター一覧

前橋東SC	前橋市天川大島町3-1-43	☎027-221-9575	藤岡SC	藤岡市中栗須字光明203-1	☎0274-50-1213
駒形SC	前橋市駒形町379-1	☎027-266-9087	藤岡南SC	藤岡市神田1360-1	☎0274-25-8511
前橋中央SC	前橋市平和町1-15-14	☎027-230-8755	渋川SC	渋川市渋川1970-17	☎0279-25-0172
問屋町SC	前橋市問屋町2-3-5 前橋問屋町ビル1階	☎027-251-8613	渋川北SC	渋川市赤城町敷島430-1	☎0279-56-3566
前橋北SC	前橋市富士見町原之郷309-1	☎027-225-9208	安中SC	安中市安中3-465-1	☎027-382-6908
富士見SC	前橋市富士見町時沢1141-1	☎027-212-9253	松井田SC	安中市松井田町新堀1358	☎027-393-3355
平成大橋SC	前橋市下石倉町27-14	☎027-253-7724	太田宝泉SC	太田市由良町1617-1	☎0276-55-6363
大胡SC	前橋市樋越町810	☎027-283-8686	境SC	伊勢崎市境西今井1-1	☎0270-76-4391
高崎北SC (旧群馬町SC)	高崎市棟高町82-1	☎027-372-2915	沼田SC	沼田市桜町1974-46	☎0278-23-1331
高崎問屋町駅前SC	高崎市貝沢町747-2	☎027-363-0500	笠懸SC	みどり市笠懸町久宮234-7	☎0277-77-2030
上並榎SC	高崎市上並榎町85-1	☎027-364-6913	富岡SC	富岡市七日市1108-1	☎0274-64-2161
高崎西SC	高崎市上豊岡町551-6	☎027-393-6472	みなかみSC	利根郡みなかみ町下牧625-1	☎0278-25-3591
高崎東SC	高崎市中居町4-2-1	☎027-350-1702	吉岡SC	北群馬郡吉岡町北下1213-1	☎0279-54-1423
高崎中央SC	高崎市あら町6-14 高崎シティーあら町ビル1F	☎027-326-0241	中之条SC	吾妻郡中之条町大字伊勢町川端20-1	☎0279-75-3937
高崎南SC	高崎市片岡町1-13-12	☎027-323-3787	長野原SC	吾妻郡長野原町大津140-1	☎0279-82-5588
吉井SC	高崎市吉井町下長根338-1	☎027-387-8718	下仁田SC	甘楽郡下仁田町中小坂64-1	☎0274-70-3202
			玉村SC	佐波郡玉村町福島88-3	☎0270-65-8975

群馬ヤクルトの歴史

1955(昭和30年)	前橋(前橋市清王寺町)・高崎・沼田・太田の、県内4社で創業「ヤクルト」の販売開始
1958(昭和33年)	群馬県ヤクルト協同組合を設立し、瓶詰め工場生産開始
1966(昭和41年)	婦人販売店制度導入
1967(昭和42年)	プラスチック容器導入
1971(昭和46年)	合併により5月18日群馬ヤクルト販売株式会社(前橋市高井町)設立 ヤクルト婦人販売店460人 化粧品事業開始
1975(昭和50年)	群馬ヤクルト「友の会」旅行関連事業開始
1979(昭和54年)	直販(店舗、給食、自動販売機)事業開始
1983(昭和58年)	ニューセンターシステム(NCS)営業展開開始 「問屋町サービスセンター」第1号店開設 初の託児所施設開設 旅行業登録
1986(昭和61年)	ヤクルトネットワークシステム導入
1989(平成元年)	対前年比売上伸長率全国第1位達成 CYS(コスメティックヤクルトスタッフ)導入開始 三輪バイク導入 営業直販部門で女性嘱託社員の積極的登用開始
1990(平成2年)	物流センターを新設
1992(平成4年)	全国ヤクルトグループ大会において、優秀販売会社として成果を発表
1995(平成7年)	化粧品ホームエステサービス開始
1996(平成8年)	お客さま向け情報誌「すてき!生活通信」創刊
1999(平成11年)	宅配部門に、電気自動車導入開始(190台導入)
2000(平成12年)	顧客管理システム(携帯端末)導入 2010年ビジョン策定 群馬県ヤクルト協同組合製造廃止
2001(平成13年)	コールセンター開設 群馬県ヤクルト協同組合から群馬県プロバイオティクス普及組合に名称変更
2002(平成14年)	ヤクルトグループ全国優秀販売会社賞受賞 お客さま向け工場見学開始
2003(平成15年)	EYS(エクセレントヤクルトスタッフ)制度開始 CS推進室設置 お客さま向け健康フェア開始

歴代社長

1955(昭和30年)-

前橋ヤクルト 星野 武之助

高崎ヤクルト 中村 初男

2004(平成16年)	ヤクルトグループ全国最優秀販売会社特別賞受賞 社会貢献委員会設置 ヤクルトご意見番設置 ISO9001認証取得
2005(平成17年)	群馬ヤクルト創業50周年 ISO14001認証取得 Pマーク認証取得 星野哲也(株)ヤクルト本社取締役就任 群馬県警察本部と「安全・安心パトロール協定」の締結
2006(平成18年)	ヤクルト健康プラザ(前橋北・高崎西)新設 ホームページ開設 ヤクルトスタッフの社員登用を開始
2007(平成19年)	「健康宣言」提唱「私たちはお客さまの健康に役立ちます」
2008(平成20年)	ヤクルトグループ「総合最優秀販売会社賞」受賞 前橋市が「乳酸菌飲料年間購入金額全国1位になる(総務省家計調査)」
2009(平成21年)	星野哲也(株)ヤクルト本社東日本支店支店長就任 ISO22000認証取得 高崎問屋町駅前サービスセンター移転・新築 高崎南サービスセンター移転・新築
2010(平成22年)	(株)ヤクルト本社東日本支店 乳製品部門・化粧品部門最優秀賞をはじめ他5部門を受賞 全サービスセンターに入金管理機設置 渋川北サービスセンター新設
2011(平成23年)	ヤクルトグループ総合最優秀販売会社賞受賞(2期連続) (株)ヤクルト本社東日本支店 乳製品部門最優秀賞をはじめ他5部門受賞 電気自動車(商用車)3台導入
2012(平成24年)	(株)ヤクルト本社東日本支店 乳製品部門最優秀賞をはじめ他5部門受賞 宅配部門に新型電気自動車100台切り替え・導入 群馬ヤクルト本店改築・増築 太田宝泉サービスセンター新設
2013(平成25年)	(株)ヤクルト本社東日本支店 乳製品部門最優秀賞をはじめ他4部門受賞 群馬県地域見守り支援事業協定の締結 ビジョン2020を策定 駒形サービスセンター移転・新築 みなかみサービスセンター移転・新築 藤岡南サービスセンター新設
2014(平成26年)	ヤクルトグループ総合最優秀販売会社賞受賞(3期連続) (株)ヤクルト本社東日本支店 乳製品部門最優秀賞をはじめ他5部門を受賞 ヤクルトスタッフの社員登用8期目完了 東日本大震災 復興応援「がんばろう東北!」を企画

群馬ヤクルトの歴史

群馬県庁旅行コーナー開設
下仁田サービスセンター移転
前橋中央サービスセンター改築
平成大橋サービスセンター改築
長野原サービスセンター新設

- 2015(平成27年)** 群馬ヤクルト創業60周年
(株)ヤクルト本社東日本支店 乳製品部門最優秀賞をはじめ他5部門を受賞
プロジェクトチーム発足
(ビジョンプロジェクト、経営品質向上プロジェクト、ファイリング・DBプロジェクト、CSネットワーク推進連絡会議)
ビジョン2020+策定
社内広報誌「Voice」発刊、ふれあいエピソード集「スマイルレポート」発刊
「Voice会議」を設置
共有プログラム『★STAR'S活動624』スタート
ヤクルトスタッフ週休3日制テスト導入
- 2016(平成28年)** (株)ヤクルト本社東日本支店 乳製品部門最優秀賞をはじめ他5部門を受賞
群馬県と「健康づくり推進連携協定」を締結
第2期プロジェクト始動(価値普及マーケティングプロジェクト、経営品質向上プロジェクト、ファイリングDBプロジェクト)
「ヤクルト400」「ヤクルト400LT」の価格改定
2016年版宅配・化粧品サービス成功事例集発刊
笠懸サービスセンター移転・新築
- 2017(平成29年)** ヤクルトグループ総合最優秀販売会社賞受賞(4期連続)
(株)ヤクルト本社東日本支店 乳製品部門最優秀賞をはじめ他5部門を受賞
前橋市と「健康づくり推進連携協定」を締結
高崎市と「健康づくりの推進に向けた連携協力に関する協定」を締結
玉村町と「地域社会づくり連携に関する協定」を締結
藤岡市と「健康増進及び福祉向上に向けた連携協力に関する協定」を締結
第3期プロジェクト始動(価値普及マーケティングプロジェクト、経営品質向上プロジェクト)
サークル活動始動(管理栄養士サークル)
2017年版宅配・化粧品サービス部成功事例集発刊
ヤクルトスタッフへ軽自動車導入開始(3か年計画)
富士見サービスセンター新設
藤岡サービスセンター移転・新築
大胡サービスセンター移転・新築
- 2018(平成30年)** (株)ヤクルト本社東日本支店 乳製品部門最優秀賞、化粧品部門優秀賞受賞
渋川市と「連携協力に関する協定」を締結
安中市と「連携協力に関する協定」を締結
富岡市と「地域社会づくり連携協力に関する協定」を締結
沼田市と「連携協力に関する協定」を締結
第4期プロジェクト始動(エリア価値普及プロジェクト、業務の仕組み化プロジェクト、新世代プロジェクト)
サークル活動第2期(管理栄養士サークル)
健康優良企業に認定
「ヤクルト届けてネットサービス」の開始
ヤクルト健康プラザ(前橋北・高崎西)廃止
第4世代型携帯端末(スマートフォン)の導入

1971(昭和46年)-

4つのヤクルトが合併
「群馬ヤクルト販売株式会社」設立

1971-

竹田 久三

1972-

中村 初男

前橋北サービスセンターの移転・新築
高崎西サービスセンターの移転・新築

2019(令和元年)

(株)ヤクルト本社東日本支店(宅配部門)乳製品部門優秀賞、ヤクルト400優秀賞、化粧品部門優秀賞
(株)ヤクルト本社東日本支店(直販部門)乳製品実売人口比優秀賞、売上指数優秀賞
甘楽町と「甘楽町地域づくり連携協力に関する協定」を締結
榛東村と「地域づくり連携協力に関する協定」を締結
第5期プロジェクト始動(新ビジネスモデルプロジェクト、業務の仕組み化プロジェクト、エンゲージメント向上プロジェクト)
サークル活動第3期(管理栄養士サークル)
健康経営優良法人2020を取得
ヤクルト400発売記念／代田 稔博士生誕120周年企画実施
電子決済サービスの導入(QRコード決済)
松井田サービスセンターの移転・新築

2020(令和2年)

ヤクルトグループ総合最優秀販売会社賞受賞(5期連続)
ヤクルトグループ部門優秀賞受賞(乳製品部門、化粧品売上高インデックス値部門)
(株)ヤクルト本社東日本支店(宅配部門)乳製品部門優秀賞、化粧品部門優秀賞、ヤクルト400優秀賞
(株)ヤクルト本社東日本支店(直販部門)乳製品実売人口比優秀賞、実売指数優秀賞、量販店マーケット優秀賞
吉岡町と「吉岡町地域づくり連携協力に関する協定」を締結
嬭恋村と「地域社会づくり連携協力に関する協定」を締結
みなかみ町と「地域づくり連携協力に関する協定」を締結
中之条町と「地域づくり連携協力に関する協定」を締結
前橋市と「地域社会づくり包括協定」を締結
東吾妻町と「地域づくり連携協力に関する協定」を締結
高崎市教育委員会より社会功労者表彰
群馬県老人クラブ連合会と「地域づくり連携協定」を締結
第6期プロジェクト(新ビジネスモデルプロジェクト、業務の仕組み化プロジェクト、エンゲージメント向上プロジェクト)
第5期サークル活動(管理栄養士サークル)
健康経営優良法人2021中小企業部門(ブライツ500)認定
内部統制によるコーポレートガバナンスの認定
新型コロナウイルス対策ガイドラインの策定及び対応

2021(令和3年)

(株)ヤクルト本社東日本支店(宅配部門)乳製品部門優秀賞、化粧品部門優秀賞、ヤクルト400優秀賞
(株)ヤクルト本社東日本支店(直販部門)乳製品実売人口比優秀賞、実売指数優秀賞受賞
高崎市と「包括連携に関する協定」を締結
群馬県社会福祉協議会と「包括連携に関する協定」を締結
桐生警察署と「桐生警察署管内防犯ネットワークに関する覚書」を交わす
第7期プロジェクト(新ビジネスプロジェクト、エンゲージメント向上プロジェクト、SNSつながるプロジェクト)
健康経営優良法人2022中小企業部門(ブライツ500)認定
(株)ヤクルト本社 代表取締役 成田社長来社
経営戦略本部新設(未来価値創造部、広報部、人材開発部)
化粧品サービス部を宅配サービス部へ編入
群馬ヤクルト～中期経営計画2035～策定

2022(令和4年)

(株)ヤクルト本社東日本支店(宅配部門)乳製品部門優秀賞、化粧品部門優秀賞、ヤクルト400優秀賞
(株)ヤクルト本社東日本支店(直販部門)乳製品実売人口比優秀賞、実売指数優秀賞受賞
昭和村と「地域づくり連携協力に関する協定」を締結
南牧村と「地域づくり連携協力に関する協定」を締結

1999-

本田 博己

2003-

星野 哲也

群馬ヤクルトの歴史

片品村と「地域づくりに関する包括連携協定」を締結
 みどり市と「両毛ヤクルト及び群馬ヤクルトとの包括連携協定」を締結
 高山村と「地域づくりに関する包括連携協定」を締結
 長野原町と「地域社会づくりに関する包括連携協定」を締結
 第8期プロジェクト(プラットフォーム型ビジネスプロジェクト(ボールウォーク事業検証・スクール連携事業検証)、
 エンゲージメント向上プロジェクト)
 DX推進委員会発足
 SNSマーケティング委員会発足
 健康経営優良法人2023中小企業部門(ブライツ500)認定
 「私たちが大切にしている価値観(5つの価値観)」改訂
 従事者教育研修プログラム:マイスター制度策定・導入
 執行役員制度導入
 DX推進部創設
 第28回上毛新聞広告賞 優秀賞 受賞「あなたの町に健康を届けるヤクルトレディ」

2023(令和5年)

ヤクルトグループ総合最優秀販売会社賞受賞(6期連続)
 ヤクルトグループ部門優秀賞受賞(乳製品人口比部門、化粧品インデックス値部門)
 (株)ヤクルト本社東日本支店(宅配部門)乳製品部門優秀賞、化粧品部門優秀賞、宅配重点商品優秀賞
 (株)ヤクルト本社東日本支店(直販部門)乳製品実売人口比優秀賞、実売指数優秀賞受賞、給食チャネル優秀賞
 群馬医療福祉大学と「産学連携協力に関する協定」を締結
 神流町と「地域社会づくりに関する包括連携協定」を締結
 川場村と「地域社会づくりに関する包括連携協定」を締結
 桐生市と「両毛ヤクルト及び群馬ヤクルトとの地域社会づくりに関する包括連携協定」を締結
 第9期プロジェクト(健康経営プロジェクト、子ども食堂プロジェクト、スクール連携プロジェクトSeason2)
 女性活躍支援～さくらMINTプロジェクト～発足
 健康経営優良法人2024中小企業部門(ブライツ500)認定
 日本生産性本部(経営品質協議会)「経営デザイン ランクアップ認証」取得
 高崎北(旧群馬町)サービスセンター移転・新築
 渋川サービスセンター移転・新築

2024(令和6年)

(株)ヤクルト本社東日本支店(宅配部門)乳製品部門最優秀賞、化粧品部門優秀賞、宅配部門宅配乳製品優秀賞、宅配部門ヤクルト
 400W努力賞
 (株)ヤクルト本社東日本支店(直販部門)優秀販売会社賞、実数指数優秀賞
 一般社団法人群馬県ボールウォーキング協会設立
 前橋市社会福祉協議会と「地域社会づくりに関する連携協定」締結
 太田市と「両毛ヤクルト及び群馬ヤクルトにおける地域社会づくりに関する包括連携協定」締結
 第10期プロジェクト(DXプラットフォームプロジェクト、子ども食堂プロジェクト、健康経営さくらMINTプロジェクト、スクール連
 携プロジェクトSeason3)
 健康経営優良法人2025中小規模法人部門(ブライツ500)認定
 安中サービスセンター移転・新築

2015-

塩谷 輝行

ヤクルトの原点 代田イズム

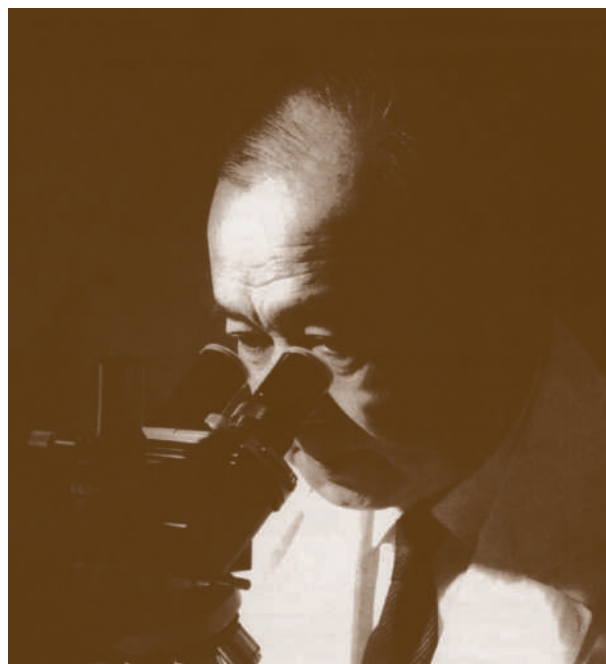
健康への情熱と発想、 世界の人々の健康を守りたい

ヤクルトの創始者で医学博士の代田 稔が京都帝国大学(現在の京都大学)で医学の道を歩みだしたのは1921年。その当時日本はまだ豊かとはいえず、衛生状態の悪さから感染症で命を落とす子どもたちが数多くいました。

そんな現実に関心を抱いていた医学生時代の代田は、病気にかかってから治療するのではなく、病気にかからないようにする「予防医学」を志し、微生物研究の道に入ります。

そこで乳酸菌が腸の中の悪い菌を抑えることを発見、これをさらに強化培養することに世界で初めて成功します。

それが、今日「乳酸菌 シロタ株」と呼ばれる学術名 ラクトバチルス カゼイ シロタ株という乳酸菌です。



代田 稔(1899～1982)

医学博士
株式会社ヤクルト本社
元代表取締役会長兼
中央研究所所長

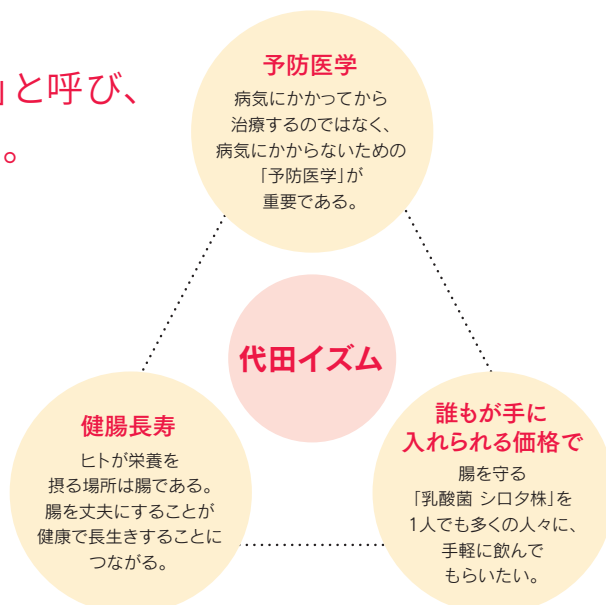
生涯を腸内菌の研究と予防医学の普及に捧げ、昭和57年、82歳で生涯を閉じる。

ヤクルトでは、 創始者である代田の考えを「代田イズム」と呼び、 現在もすべての事業の原点としています。

代田は、生きて腸内に到達し、有用な働きをする「乳酸菌 シロタ株」を、一人でも多くの人々に摂取してもらうため、有志と共に安価でおいしい乳酸菌飲料として製品化します。そして1935年、乳酸菌飲料「ヤクルト」が誕生しました。

世界の人々の健康を守りたい。

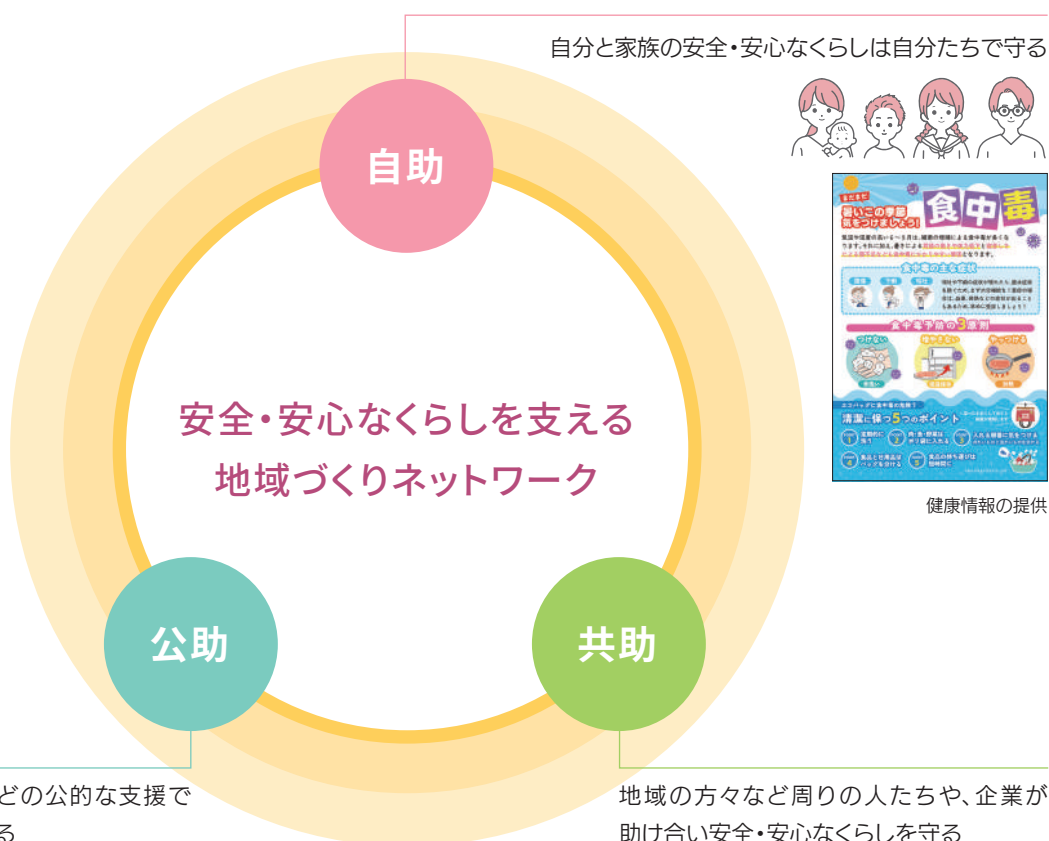
代田 稔の情熱と発想、飽くなき探究心は、今も、脈々と受け継がれています。



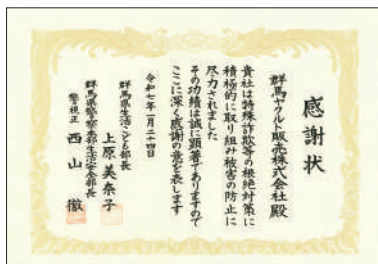
「共助社会の担い手」として

共助社会で私たちにできること

私たちは「共助社会の担い手」として、健康と美のお届けを通して地域の方々と助け合いながら、安全・安心に暮らせる地域づくりを行っています。「自助」に対しては、ヤクルトのお届けと共に健康情報の提供を行い、自分たちと家族の安全・安心な暮らしを守るための啓発を行っています。また「公助」と「共助」をつなぐ活動に力を入れ、自治体や警察・消防、各種団体と連携し、安全・安心な暮らしを支える地域づくりネットワークの円滑な運用を目指しています。



自治体や警察・消防などの公的な支援で安全・安心な暮らしを守る



特殊詐欺等の対策協力に対する感謝状



火災予防運動広報活動に対する委嘱状



地域の方々など周りの人たちや、企業が助け合い安全・安心な暮らしを守る



公助と共助をつなぐ

地域包括連携協定を締結して、協働による地域づくりを推進し、あらゆる分野で安全・安心な暮らしに向けた相互連携を行います。

2024年度までに1県10市8町7村3団体と締結



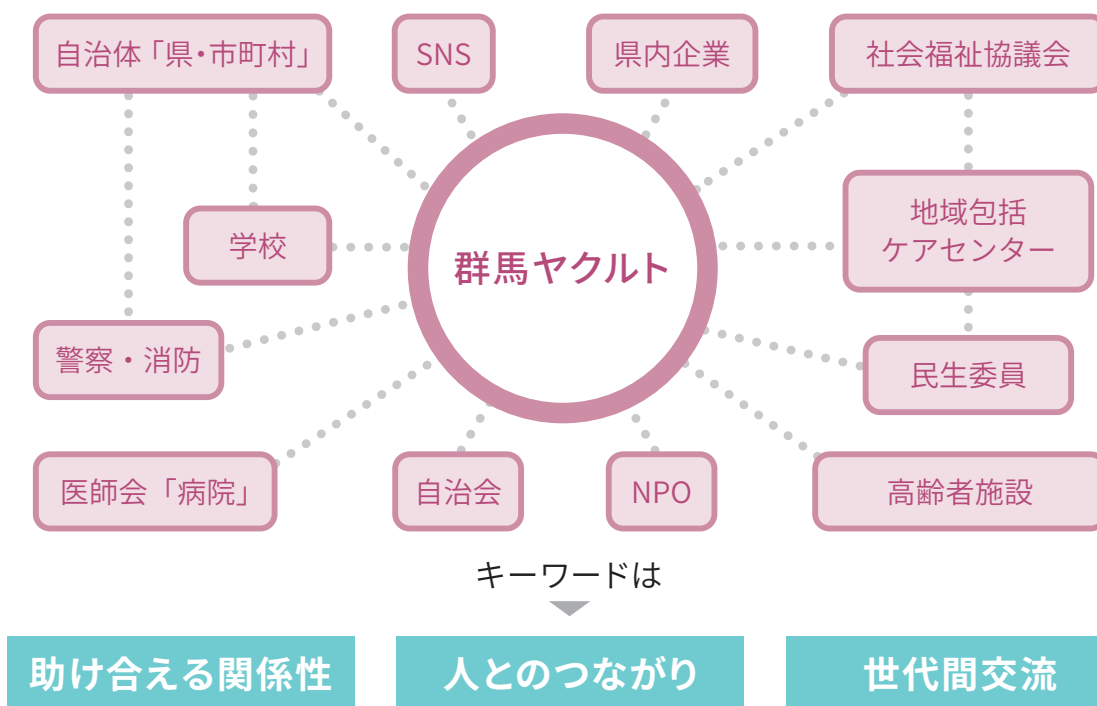
群馬ヤクルトのビジョンについて

ヘルスケアカンパニーへの進化とプラットフォーム型ビジネスモデル構築

ヤクルトの自律性・主体性・独自性を保った「ヤクルト・プラットフォーム」。地域に生きる人々の生活の質の向上、地域課題の解決に寄与できる事業、サービスの場を、地域社会の諸団体との「つながり」を通じて提供します。

◆ プラットフォーム型ビジネスモデル

ヤクルトは、地域社会における共助の担い手として、地域の皆さま、企業、自治体と多層的かつ多面的なつながりを築きながら、社会課題の解決に取り組んでいます。これらのつながりを基盤として、持続可能なネットワークの形成やコミュニティの創出、新たなサービスの開発を推進することで、人々の健康維持と生活の質の向上を支援します。私たちは、地域社会と共に成長し、誰もが安心して暮らせる住みよいまちづくりに貢献するプラットフォームの確立を目指してまいります。



ビジョン2035
「共助社会の担い手になる」
乳製品人口比20%を目指して

2021年度より中期経営計画を策定

群馬ヤクルトは、ヤクルトグループ創業100周年・群馬ヤクルト創業80周年を迎える2035年をビジョン実現の年と定めた。目指す姿は「共助社会の担い手になる」乳製品人口比20%を目指す。ビジョン実現のために、2021年度を新創業元年と位置付け、2035年までを5つのステージに分け、3年ごとの中期経営計画を策定した。

一般社団法人 群馬県ポールウォーキング協会設立

群馬県内でのポールウォーキング普及と健康増進を目的に、2024年3月25日に一般社団法人群馬県ポールウォーキング協会を設立しました。群馬ヤクルトが協会の事務局を担っています。



一般社団法人
群馬県ポールウォーキング協会

ホーム
ページ



設立目的

ポールウォーキングの普及・啓発・教育活動を通じて、県民の心身の健康の維持増進を図ると共に、ポールウォーキングを核とする健康サービスの新たなコミュニティビジネスを創出・展開することで、地域社会の課題解決に貢献する。

運営体制

(一社)日本ポールウォーキング協会認定

《(一社)群馬県ポールウォーキング協会委託コーチ》

◆ 当協会資格保持者

認定資格	資格保持人数
マスターコーチプロ	2名
アドバンスコーチ	2名
ベーシックコーチ	4名

新聞掲載



サークル・教室



- エンジョイポール様名
- 六郷長寿センターサークル
- 中居ポールウォーキング
- 沼田ハッピーポール
- ひまわりなごみポール
- いーすとポールクラブ
- 総社町5号公園教室
- しきしま老人福祉センターサークル
- おおとも老人福祉センターサークル
- 前橋江木町サークル



ポールウォーキング大体験会

2024年11月27日、ぐんま総合スポーツセンターにて開催されました。



参加者

93名



◆ 協会パンフレット

群馬医療福祉大学との共同研究

ポールウォーキングで人生100年時代へ
～新たな居場所でのフレイル予防～

GUNMA POLE WALKING

一般社団法人群馬県ポールウォーキング協会

募集 中

ポールウォーキング体験会
ポールウォーキングコーチ
賛助企業

詳しくは、以下の協会ホームページよりご確認ください

◆ 協会問い合わせ先
一般社団法人群馬県ポールウォーキング協会
事務局：群馬ヤクルト販売株式会社
群馬県前橋市高井町1-1-1 ☎ 0800-700-8960 ホームページ

◆ 群馬医療福祉大学 研究プロトコル

ポールウォーキングによる地域在住高齢者の健康増進及びコミュニティづくりを目的とした産学連携：研究プロトコル

P3-5

【研究の目的】
ポールウォーキングによる健康増進や地域への貢献などを目的とする。

【研究の目的】
ポールウォーキングによる健康増進や地域への貢献などを目的とする。

【研究の目的】
ポールウォーキングによる健康増進や地域への貢献などを目的とする。

【研究の目的】
ポールウォーキングによる健康増進や地域への貢献などを目的とする。

【研究の目的】
ポールウォーキングによる健康増進や地域への貢献などを目的とする。

◆ 賛助企業

一生涯のパートナー

第一生命



学校法人 昌賢学園

群馬医療福祉大学

群馬医療福祉大学短期大学部

一般社団法人日本ポールウォーキング協会

一般社団法人群馬県ポールウォーキング協会設立1周年おめでとうございます。日本ポールウォーキング協会といたしましては初めての正式な支部設立になります。群馬ヤクルト販売株式会社様のポールウォーキングの普及、啓発、教育活動を通じて群馬県民の心身の健康維持増進を図るとともに、ポールウォーキングを核とする健康サービスの新たなコミュニティビジネスを、創出、展開することで、地域社会の課題解決に貢献することを目的とする。この理念に当協会の名誉会長安藤邦彦、代表理事柳澤光宏とも深く共感いたしまして支部設立に全面協力いたしました。現在マスターコーチプロ2名、アドバンスコーチ4名、ベーシックコーチ11名のコーチ陣を育成され、群馬県内に10か所の自主サークルを立ち上げられました。1年での実績の大きさに驚きますとともにポールウォーキングの広まりを実感いたします。今後とも、ポールウォーキングの普及を通じて群馬県民の皆さまの心身の健康に寄与されることを期待いたします。



一般社団法人
日本ポールウォーキング協会
専務理事
水間孝之 様

会社データ

ビジョン2035

トピックス

部門紹介

Voice会議

毎月1回、全部門の管理職が参加して、お客さまや現場の従事者から寄せられた生の声(Voice)を共有し、その声をもとに、アイデア交換や課題の抽出を行っています。その場で回答が難しいものは、各部門で持ち帰り、次の会議で進捗を報告しています。

2024年度実績

◆ 集められた声

1,131 件

従事者の声

◆ 倉庫内の夏の暑さ対策について

🗨️ 従事者の声



本店倉庫内では扇風機を活用していますが、このところの暑さは尋常ではありません…

🗨️ DX推進部の回答

(株)ヤクルト本社からクールファンベストを紹介されたので、試験的に使用をお願いします。



クールファンベストを着用

🗨️ 従事者より返答



倉庫担当者で着用しました。外気が入ってくるので、冷蔵庫やエアコンの利いた車両の運転中はとても涼しく感じます。屋外では熱風が入ってきますが、汗が気化熱となるので体温が下がるのではないかと思います。

クレーム予防推進会議

クレーム予防推進会議では、会社へお問い合わせいただいた、お客さまの声を分析し、対応策を考え、共有しています。今後も、会社全体でお客さまサービス向上を目指していきます。



お申し出件数

全体 **864** 件

◆ 宅配サービス部

◆ 直販サービス部

382 件(前年度:383件)

482 件(前年度:507件)

※2025年2月末現在

ボイスの時間

部下の成長支援を目的とした、部下のための時間です。対等な人間同士であるという姿勢で臨み、上司と部下がお互いに何でも話せる関係の構築を目指すものです。

実施目的

部下と上司の1対1の対話を通し、以下の2点を目的とし実施します。

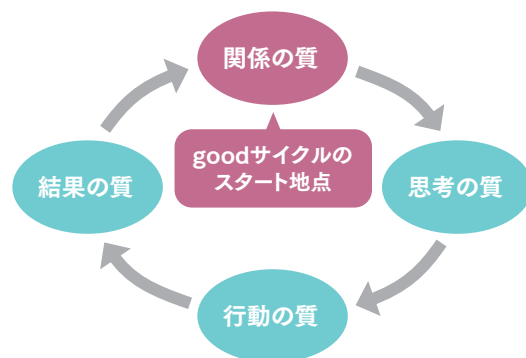
1. 部下との関係構築
2. 部下の成長支援

「ボイスの時間」基本ルール

- 一人の部下に対し、月に最低1回以上、30分間で行う。(ただし30分以内厳守)
- 必ず就業時間内で行う。
- 実施場所として、社内会議室の他、Zoom等を利用したオンラインや、社外のカフェやファミレス等での実施も可とする。

成功循環モデル

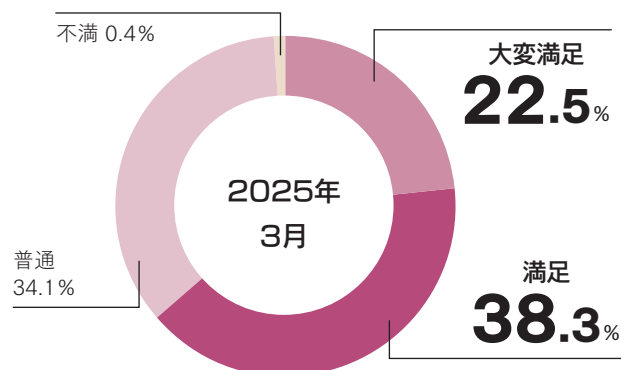
「成功の循環(Theory of Success)」は、マサチューセッツ工科大学のダニエル・キム氏によって、提唱されたモデルです。周囲との関わり方やコミュニケーションといった「関係の質」が高くなると、自然と考え方も前向きになり、目的意識が高まって「思考の質」が上がります。それが人々の積極性や主体性といった「行動の質」を高め、成果が生まれて「結果の質」につながります。すると、ますます関係の質が高くなる、といった循環を指しています。「ボイスの時間」は、この「関係の質」向上の一環として実施しています。



「ボイスの時間」実施後アンケート

◆ 全体満足度

■ 大変満足 ■ 満足 ■ 普通 ■ 不満



マイスター制度の運用

群馬ヤクルト独自の資格制度であり、新たなキャリアアップの道筋を築くマルチキャリアパス制度です。自身が意義を感じられるような職務に自分らしさを発揮し、専門性を磨くことで、周りに良い影響を与え、周りにも認められる人材を見出します。60歳以降もマイスターとして従事し、70歳まで管理職以外にもやりがいを見出せ、その職務で活躍できる。群馬ヤクルト独自の能力を次世代へ継承するための制度です。

マイスター制度対象者

全社員(雇用者)

マイスター制度の種類

「ブロンズマイスター」「シルバーマイスター」「ゴールドマイスター」の3種類があります。

マイスター制度設計

まず初めに目指していただくのがブロンズマイスターです。次に目指すのがシルバーマイスターで、ブロンズ認定を受けた社員が対象となり、職務の高い専門性が求められます。そして最終的に目指すのがゴールドマイスターです。マイスターとしての経験と技術を次世代へ継承できる、高い専門性を備えた方が認定を受けます。

ブロンズマイスター

対象 全社員

基礎能力8科目を設定
全科目取得(研修受講+)者は
ブロンズマイスター認定

シルバーマイスター

対象 ブロンズ認定社員

職務の高い専門性が求められる
(経験・実績・資格)

ゴールドマイスター

対象 シルバー認定社員

マイスターとしての経験と技術
を次世代へ継承できる高い
専門性を備える

ブロンズマイスター認定者



認定者数

114名(2024年度新規認定者20名)



2024年度

ブロンズマイスター修得研修受講者

140名

シルバーマイスターの共通スキル

伝達力

傾聴力・読解力・記述力・提案力

課題解決力

課題発見・課題分析・論的思考・計画実行

共感力

尊重・理解受容・想像力・共感的態度

創造力

発想する力・推論する力・感動する力・探求意欲

自己実現力

学び続ける姿勢・目標設定・自己管理・達成志向

職務の専門性に加えて、この5カテゴリー各4スキルに対し、本人・上司・同僚・部下による360度サーベイを実施。自己認識と他者認識のギャップを確認し成長を促します。

子育て支援について

群馬ヤクルトは県内16か所にキッズルームを設けています。サービスセンター内に併設されているのでお子さまの近くでお仕事ができます。また、長期休暇期間には小学生までお預かりし、働くお母さんをしっかりサポートしています。キッズルームでは安全・安心な保育環境づくりと保育士のスキルアップに日々取り組んでいます。



キッズルーム利用者の声



上並榎KR

関結・唯柁ちゃん(1歳)

職場にキッズルームがあることがきっかけとなり、ヤクルトのお仕事を始めました。その時は次男がキッズルームを利用させていただきました。3人目を出産した際には、キッズルームを利用しながら仕事復帰をしました。お弁当は離乳食から始めたため、先生のアドバイスをいただきながら、今では上手にスプーンやフォークを使って食事をとることができるようになりました。毎日の子どもの様子は先生からおたより帳や口頭で詳細に教えてもらえるので、いろいろ相談できて助かります!また、長期のお休みには上のお兄ちゃんたちもキッズルームで預かってもらっています。職場の隣にキッズルームがあると安心してお仕事にも取り組むことができるので大変ありがたいです!

問屋町KR

住谷瞳・莉緒ちゃん(1歳)

娘が1歳になり、育児休業が明けるタイミングでキッズルームを利用しようと決めました。決め手は少人数で手厚く先生に見てもらえて、安心して預けられるところに魅力を感じたからです。同じくらいの年齢のお友達と毎日仲良く遊びながら歌や踊り、言葉などを覚えたり、キッズルームに預けてからいろいろなことができるようになり成長が感じられます。娘が一度もキッズルームへ行くのが嫌だと言わなかったのは、先生方が毎日優しく楽しく保育してくださったからだと思います。先生方にはたくさん感謝しています。会社の最寄りのKRを利用しているため、同じ会社で働いている夫とも送迎など協力し合うことができ助かっています。また先生に毎日書いてもらう、おたより帳を二人で見るのを楽しみにしています。



研修について

社員研修

今年度は階層別の合宿形式での研修を開催しました。全ての合宿研修に共通するテーマは「会社と個人のビジョンをつなぐ」です。昨年度作成した「経営の設計図」を元に経営ビジョンを自分事化し、さらにそこへ自分自身の個人としてのキャリアを重ねて、ビジョンを具体的に考えることを目的として実施しました。

次世代リーダー合宿研修

- 対象 リーダー以上の管理職(30名)
- 実施日 1グループ 2024年5月17日(金)～18日(土)
2グループ 2024年6月7日(金)～8日(土)
- 会場 上牧温泉 辰巳館



◆ プログラム内容

- 役員講話 ● 経営デザイン講義 ● ビジョン実現に向けたグループワーク 等

1. 経営ビジョンについて、部下へ発信する立場として深く理解し行動化する。
2. リーダーとしての役割・期待を理解し、自らのリーダー像を描く。

ネクストリーダー合宿研修

- 対象 30～40代ネクストリーダー候補者(19名)
- 実施日 2024年11月8日(金)～9日(土)
- 会場 ホテル磯部ガーデン



◆ プログラム内容

- 役員講話 ● 経営デザイン講義 ● 各部門戦略マップの発表 等

1. ネクストリーダーとしての資質向上を目指し、全社ビジョンへの主体的な関わりについて考える。
2. ネクストリーダーとしての明日からの行動指針を各自で描く。

中堅社員研修

- 対象 入社6～8年目を中心とした中堅社員(15名)
- 実施日 2025年1月24日(金)～25日(土)
- 会場 神沢の森 音羽倶楽部

◆ プログラム内容

- 役員講話 ● 経営デザイン講義 ● 360°フィードバック 等

1. 全社ビジョンへの主体的な関わりを考え、中堅社員としての明日からの行動指針を各自で明確にする。
2. 360度フィードバックを通して自己理解を深め、それについて仲間と討議することで自己課題を明確にする。



新入社員研修

今年度の総合職としての採用は、松田敬充(まつだたかみつ)社員です。今年度から新入社員研修が「1年間」となり、全部署の研修を受けてもらいました。研修期間を長く設けたことにより、多くの先輩社員と交流する機会となっています。また、さまざまな視点で会社を学ぶことができたと思います。



小林社員・飯島研修員との写真



はたちのつどい イベント



宅配研修



高崎中央サービスセンターでの写真

社会人1年目・総合職の新入社員は1人ということで、不安なことが多かったですが、たくさんの方にサポートしていただき多くのことを学ぶことができました。2025年4月から正式に部署配属され、群馬ヤクルトの一員として、より一層励んでまいります。あたたかいご指導をありがとうございました!今後もよろしくお願いいたします!

松田敬充

長期社会体験研修

今年度で県内教員の研修受け入れも8例目となりました。研修員の先生が群馬ヤクルトの活動に主体的に参加いただくことで、社員が良い影響を受ける機会となっています。今年度は、高崎市立金古小学校教諭の飯島美貴先生が1年間研修を行いました。主な研修内容をご紹介します。



冷蔵庫でのピッキング業務



コールセンターでの電話対応



お客さまのご自宅へヤクルトのお届け



サービスセンターでの健康教室



勤務校での健康教室



企業での健康教室司会



店舗でのイベント



YHA活動



自動販売機ルート業務



群馬ヤクルトでの研修は毎日が新鮮で、学校現場では経験できない数多くのことを学ばせていただきました。特に、お客さまのご自宅へ1軒1軒訪問し、ヤクルトのお届けをさせていただいたことが思い出深いです。今後、研修での学びを教育活動に生かしていきたいです。あたたかく研修を受け入れてくださった群馬ヤクルトの皆さまに感謝申し上げます。1年間大変お世話になりました。ありがとうございました!

飯島美貴

労働環境の整備

車両管理

各部門で使用する車両を管理しており、今年度より、ヤクルトスタッフ使用車両の新型車両への入れ替えが始まりました。車両が大きくなり、商品の出し入れがしやすいなど、お届けしやすい環境整備につながっています。また、環境に配慮した、電気自動車の導入も始まりました。



新車両（スペースシア）



健康診断受診勧奨

健康診断の受診率向上のため、受診勧奨に力を入れており、各サービスセンターでの啓発や、健康情報の発信を行っています。

◆ 実施内容

- 健康情報発信（毎月初旬に掲示板へ発信）
- 婦人科がん検診情報発信（毎月中旬に掲示板へ発信）
- 市町村別婦人科がん検診情報（6月に各サービスセンターへ該当市町村の内容を発信）



お客さま相談窓口

コールセンターは会社の顔として、お客さまからいただくさまざまなお問い合わせに対応しています。心のこもった価値普及を行うとともに、お客さまの貴重な声を収集し各部門へ繋ぐ役割を担っています。



避難訓練の実施

サービスセンター・本店において地震火災に備えた避難訓練を実施しています。地震による火災を発見し、第一発見者が非常ベルを押して、建物の避難から始まります。その後、消火訓練、起震車で実際の揺れを体験しました。BCPを基に緊急時の環境・体制整備も行います。



消火器の取り扱いを体験



サービスセンターにおける避難訓練



避難終了後に訓練の総評

ートピックス

スポーツ社員の活動

当社の社員として働きながら、サッカー・トライアスロンで活躍する7名の社員を紹介します！

会社データ

ビジョン2035

トピックス

部門紹介



FW
内川菜摘



DF
原島望



MF
高橋花央子



MF
内藤夏鈴



GK
佐々木心



FW
島田麟



トライアスロン
小林祐也



一 全社横断プロジェクト

ヤクルト子ども食堂プロジェクト2

活動テーマ

「共助社会の担い手になる」というビジョンのもと、地域社会の課題解決の取り組みとして、2021年度より子ども食堂「GENKI★食堂」を運営しています。2024年度はヤクルト子ども食堂プロジェクト2を結成し、子ども食堂「GENKI★食堂」のさらなる可能性を検証していきます！



プロジェクトの目的

「共助社会の担い手」として地域社会の課題解決に取り組む

1. 子どもの居場所づくり
2. 子育て世代の居場所づくり
3. 地域との繋がり

検証項目

テーマ：あたたかい「つながり」を広げよう

1. 渋川エリアにて「GENKI★食堂」の実施検証
2. 地域団体と連携した取り組み
3. 地域の繋がりへの拡大を図る

渋川GENKI★食堂 グランドオープン

渋川サービスセンター・キッズルームにて「子育て世代の繋がり場をつくることで、社会課題である親の孤立の解消を目指すこと」を目的に、渋川GENKI★食堂がグランドオープンしました。渋川GENKI★食堂は管理栄養士監修の食事提供の他、保育士がお子さんをしっかりお預かりすることで、子育て世代のお母さん同士の繋がり場、お母さんが笑顔になれる場として活動していきます。

◆ 実施回数

4回

◆ 参加人数・参加世帯

88名 44世帯



地域団体と連携した取り組み

◆ 夏休み まいにちこども食堂

共働き世帯の増加に伴い、給食の無い夏休みの子どもたちの孤食の防止、憩いの場の提供、親御さんの負担の軽減を目的に、子どもたちにお昼ご飯を提供する「まいにちこども食堂」を実施しました。

子どもの自活能力を高めるために参加型子ども食堂も開催し、子どもたちが自ら調理を学びました。この経験を通じて、作る楽しみや喜びを子どもたちに体験してもらうことができました。



◆ 第2回こども食堂フェスタ～まえばし～

11月2日にこども食堂フェスタ～まえばし～を開催しました。目的は前橋市内の子ども食堂の周知、企業と子ども食堂とのマッチング、子ども食堂間の交流の場です。当日は子ども向けのイベントの他、子育て食育をテーマにしたパネルディスカッションも行われ、多くの親子に参加いただきました。



地域との繋がり拡大

地域のコミュニティが希薄になっている現在、地域の課題(担い手不足・世代間交流)解決、地域の活性化を図るために、地域団体と連携を図り、さまざまな活動を行いました。

◆ 平成大橋子ども食堂GENKI★食堂

今年で4年目を迎え、「子どもの居場所づくり」「子育て世代のコミュニティ」「地域の繋がり」の場として運営しています。地元の大学の学生ボランティアや中核病院の職員ボランティアにも参加してもらい地域の繋がり拡大を図っています。



◆ 地域イベントの共助活動

社会的課題のひとつ「地域の担い手不足」の解消のため、そして地域住民との繋がりを構築するために地域の自治会と協力し共助活動を実施しました。



ー 全社横断プロジェクト

スクール連携プロジェクト Season3

活動テーマ

～学校運営協議会委員として～

学校と地域をつなぐ「健康コーディネーター」を目指して2つの取り組みを実施

● 新町中学校

生徒・教職員の「学校健康づくり」の実践

● 地域

新町中学校を基点とした「地域健康づくり」モデル策定



プロジェクトの目的

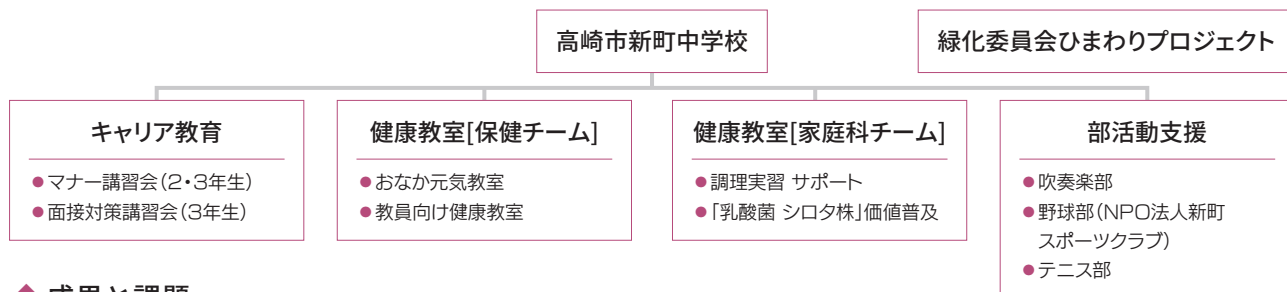
共助社会の担い手になる

【教育機関を基点とした新たなつながりづくり】

活動目標

高崎市立新町中学校でのさまざまな活動事例を他の教育機関へ紹介する「提案書」を作り上げる

プロジェクト活動推移



◆ 成果と課題



2024年度 学校運営協議会メンバー就任

今期プロジェクトの取り組み内容

1. 健康教育 実践 **新規**

→担当教員と協働で「保健・体育」授業実施
* 1年生の健康増進取り組み 実施

2. 学校健康経営 実践 **新規**

→当社+管理職(教頭・教務)+教職員
* 健康経営チーム活動*教職員の健康取り組み 実施

3. 学校運営協議会委員と協働活動 **新規**

→地域へ健康取り組み実施(健康教室、運動支援 等)
→新町地域と連携(イベント、企業連携 等)

4. キャリア教育支援 **継続**

→マナー講習会、面接対策講習会など継続支援

5. 部活動支援 **継続**

→吹奏楽部へ継続的な支援による生徒育成及び健康づくり

今期実施検証した取り組み

◆ 健康教育

対象 1年生75名 「食生活と健康について」 2回実施

目的 自分の生活を振り返りながら「食事を摂る上で大切なこと」「朝食の重要性」を知り、健康的な生活習慣を身に付ける



◆ 学校健康経営

- 教職員対象「健康経営」研修会 ● 健康課題解決実践「生活習慣改善プログラム」
- 教職員向け健康教室 テーマ「動脈硬化」 ● 血管年齢測定器イベント



◆ 学校運営協議会委員活動

- ひまわりプロジェクト ● ボランティア部活動支援(吹奏楽部)
- キャリア教育支援 ● 新町地域イベント出展



新町中学校では、高崎市と包括連携協定を結ぶ群馬ヤクルト販売株式会社様と、令和3年度よりご支援・ご協力いただいているキャリア教育や健康教育、また、部活動支援やひまわりプロジェクトなど、民間企業の力と学校教育とで連携・協働し、大きな成果を上げてきました。令和6年度は、群馬ヤクルト様を学校運営協議会(コミュニティ・スクール)のメンバーにお迎えし、引き続きのご支援・ご協力に加え、令和3年度より構想していた学校現場としては目新しい取り組みである「学校健康経営プロジェクト」を企画・実施することができました。先生方の心と身体の健康こそが教育の基盤であり、さまざまな面で生産性を高めるだろうと考えたからです。長期休業の2回、管理栄養士さんによる学びの場を設け、職員全体では主に睡眠をテーマにすすめました。教員志願者数が減少している昨今、学校現場で働く先生方が心身ともに健康に働けることも学校経営の大切な1つであると考えております。



高崎市立新町中学校
教頭
北爪 稔 様

このたびの健康教育では、群馬ヤクルト販売株式会社の皆さまに授業を行っていただきましたことに、心より感謝申し上げます。教科書の中では学べない実践的な情報や、より具体的で深い知識を提供していただきました。特に「朝食の重要性」、「睡眠の重要性」については生徒たちのアンケートの内容を参考に、実態に応じた内容で授業を展開していただいたことで、生徒たちがとても真剣に聞く様子が見られました。また、2回にわたる学習を通して、短期的な学びに止まらず、生徒たちが継続的に健康について意識し、日常の中で実践しようとする姿を見ることができたことも大きな成果でした。私自身も専門的な視点からの学びを深めることができ、今後の授業に取り入れたいと思う貴重な機会となりました。

学校の中だけでは難しい、新しい発見があったことで、子どもたちの視野も広がり、健康についてより深く考えるきっかけとなったと思います。これからもこうした学びを大切にしながら、生徒たちが主体的に健康を意識し、行動できるような教育を進めていきたいと感じています。

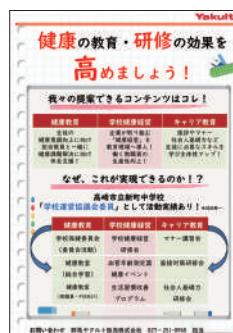


高崎市立新町中学校
教員
栗原 凜 様

今後の活動

◆ 群馬ヤクルト版スクール連携モデル

高崎市立新町中学をフィールドに取り組んできた事例を「提案書」として他の教育機関へご紹介する



ー 全社横断プロジェクト

DXプラットフォームプロジェクト

活動テーマ

DXプラットフォームプロジェクトでは、データドリブン経営の推進を図り、kintoneを活用した売上・業務データの一元管理を進めます。また、業務の標準化と効率化を目的に、マニュアルの更新やオンライン化を推進し、属人化を解消します。さらに、ITリテラシー研修を通じた社内コミュニケーションの強化や、Instagram・インフルエンサーを活用したデジタルマーケティングを展開。全社的なDX推進を進め、業務の効率化と事業成長を目指します。



プロジェクトの目的

1. 社内コミュニケーションの促進
2. 社会・地域への発信力の向上
3. デジタル技術を活用した「つながり」の強化

行動指針

立場や前例にとらわれず議論し、固定概念を打破していく

DXプラットフォームの実現は「情報の収集」と「情報の活用」

◆ 社内情報共有 プラットフォーム

- | | | |
|----------------|---------------|----------------|
| kintone | Garoon | S.T.E.P |
| ● アプリの運用 | ● スケジュール | ● 人事評価 |
| ● 社内申請 | ● メール | ● EXサーベイ |
| ● 相談カード | ● メッセージ | ● 組織図 等 |
| ● 事故報告 | ● 掲示板 | |
| | ● 稟議 等 | |

◆ 情報提供 プラットフォーム

- | オフ・ライン | オン・ライン |
|-------------|---------------|
| ● チラシ(YS) | ● Instagram |
| ● 新聞 | ● X(旧Twitter) |
| ● ラジオ | |
| ● テレビ | |
| ● 広告(折込) | |
| ● デジタルサイネージ | |

コミュニケーションについての課題

社内

1. 部門内の事例共有が掲示板に限定されている
2. 部門間で共通の取引先情報が共有されていない
3. Garoon内のスケジュール管理に手間がかかる
4. 情報の閲覧が少なく届いていない場合がある
5. ツールの運用・活用のばらつき

社外

1. 投稿に統一感がなく、部門ごとの重複や相手任せな発信が目立つ
2. 情報が多く、生活者へ届かない
3. 告知や商品紹介は可能だが、情報発信が一方向的で双方向のコミュニケーションが不足している

プロジェクトの達成に向けた戦略

課題解決に向けて今回より「社内DXチーム」と「社外DXチーム」の2チーム制を導入しました。

社内DXチーム

- 業務プロセスの効率化
- データ活用による迅速な意思決定の実現
- 社内コミュニケーションの強化
- 業務のスピードアップや精度向上
- 社員一人ひとりの生産性を最大化する
- コスト削減

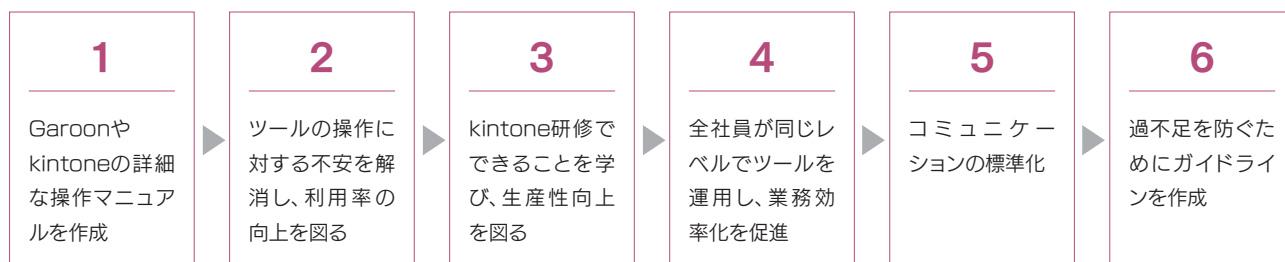
社外DXチーム

- 顧客との接点やサービス提供のデジタル化
- 顧客体験の向上
- ビジネスモデルの変革
- 新規顧客の獲得
- 顧客データを一元管理とパーソナライズされたサービスを提供

会社データ

アクションプランの作成

◆ Garoonとkintone 運用の改善



◆ kintone活用

直販売上データ管理システム	
システム活用のねらい	●各ルート社員が適切に取引先の状況や課題を把握 ●取引先ごとの販売データをkintone上でリアルタイムに確認できる環境を整え、迅速な提案・改善を実現 ●販売機会の損失を防ぎ、取引先との信頼関係も強化
目標	●ルート担当者が売上目標を下回っている取引先をデータ分析し、提案・改善活動を強化

◆ SNSを活用した化粧品新規顧客の創造

InstagramやFacebook、X (旧Twitter) などのSNSプラットフォームを活用し、ターゲット市場に対して定期的なSNSキャンペーンを実施。



部門紹介

ー 全社横断プロジェクト

健康経営さくらMINTプロジェクト

活動テーマ

昨年より女性の健康と仕事の両立を考える「さくらMINTプロジェクト」が立ち上がりましたが、女性の健康課題は全社として取り組む必要があると考え今年度は、健康経営プロジェクトと合体して、男女区別なく全社の健康課題として解決に取り組んでいます。

「健康経営」とは？

従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践すること。



プロジェクトの目的

女性従事者が、それぞれのライフステージで抱える悩みや課題を抽出し、仕事を続けられる環境を作っていく。

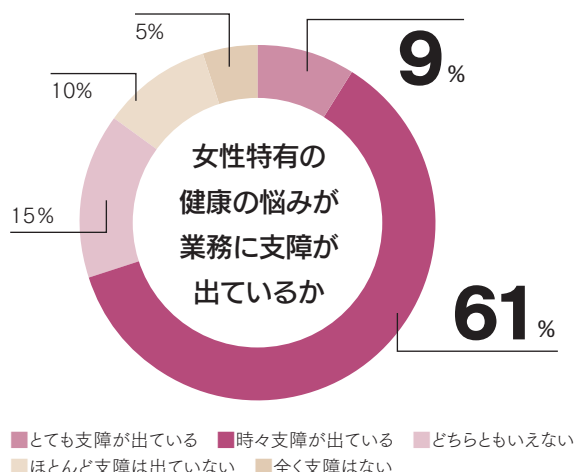
プロジェクトの課題

1. 従事者の「血圧」と「睡眠」が良好ではないこと
2. 「健康経営」の全社的普及が出来ていないこと（認知度が低い）
3. 女性の健康と仕事が両立できる仕組みづくりが不十分

プロジェクトの目標・実践内容

「血圧と睡眠の健康スコアリングを向上」「健康経営の認知度の向上」さらに、「女性の健康への理解向上」に向けた具体的取り組みを実施します。「健康経営」そのものの目的・意味に従事者全体に広げていくとともに、課題解決を通して、従事者全員が心身ともに健康に働くことができる風土を作ります。また、健康経営優良法人ブライツ500の継続取得を目指し、全社的な活動に取り組みます。

女性従事者を対象とした健康に関するアンケート結果



◆「女性特有の悩み」で業務に支障が出ている人の割合

回答全体の **70%**
※2023年度調査

特に「生理痛」「PMS（月経前症候群）」「更年期障害」の悩みを抱えていました。この結果について、今年度は男性社員のメンバーとも意見交換を行い、実行策を検討しました。

女性の健康についての勉強会を企画・実施

今年度は、女性ホルモンについて当事者も、一緒に働く周りも理解を深め、お互いに思いやれるようになること、そして各自でも少しでも工夫をし、改善ができるようになることを目指し、まずは勉強会を開催しました。

目的	女性ホルモンについて学ぶことで、自分自身や周囲の健康状態や不調、身体の変化について理解を深める
対象	女性従事者+周囲で共に活動する社員
方法	音声付きスライド動画の視聴(プロジェクトで作成)グループワーク
期間	10月～12月 (センターは10月～11月)
時間	約30分(グループワーク含む)

勉強会の内容

1. 健康経営さくらMINTプロジェクトとは
2. アンケート結果報告
3. 女性ホルモンのバランスは乱れやすい
4. ホルモンバランスが乱れる理由
5. ホルモンバランスの改善方法
6. グループワーク「わたしの健康法」
7. 早期受診のすすめ
8. やってみよう!ホルモン改善体操
9. アンケートのご案内

◆ グループワーク内で共有した仲間の声

不調の時の対処法として、よく笑いよく泣く、仲間に甘える、など多数ありました。

◆ 実施後の声

9割以上の方から共感を得られ、特にホルモン改善体操は好評でした。



定期的に行ってほしい



家族にも共有したい

産婦人科館出張 佐藤病院 佐藤雄一 院長による講演会開催

高崎市の産婦人科館出張 佐藤病院 佐藤雄一 院長に「男性にも知って欲しい女性特有の健康課題」というテーマでご講演をいただきました。佐藤雄一院長は12代目で、妊娠出産にまつわる女性のケアだけでなく、「女性の生涯にわたる治療」をモットーに幅広くご活躍をされている方です。



◆ 実施後のアンケート

満足度 **93%**

男性社員にも関心をもっていただけたことが大きな成果でした。

◆ 男性社員の声



女性の健康について、講話を聴くのは初めてだった。聞いてみて、とても勉強になったし、周りの女性に対して、今よりもっと配慮しようと思うきっかけになった。

地域連携の推進について

自治体との連携

自治体と一緒に、地域住民の健康増進や地域づくりに関する活動を行っています。具体的な活動としては、「健康増進及び食育」「高齢者・障がい者及び子どもの支援」「スポーツ及び文化振興」「防災・災害対策及び防犯」「市町村政のPR及び観光振興」などです。今年度は太田市と包括連携協定を締結しました。



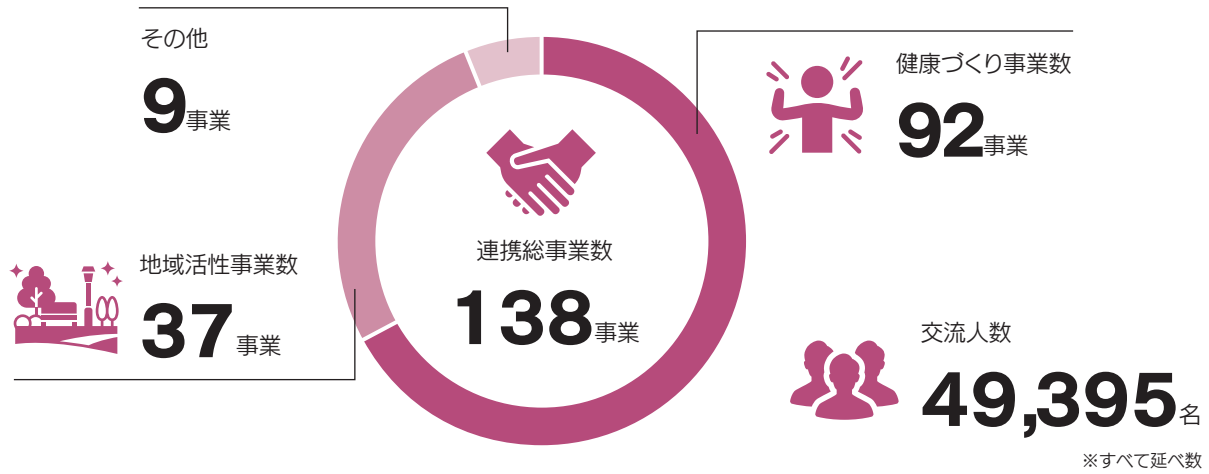
2024年現在 協定締結自治体

1 県 **10** 市 **8** 町 **7** 村 **計26**自治体

東吾妻町 (2021年2月) ●「地域社会づくり包括連携協定」	中之条町 (2021年2月) ●「地域社会づくり包括連携協定」	高山村 (2023年2月) ●「地域づくりに関する包括連携協定」	長野原町 (2023年3月) ●「地域社会づくりに関する包括連携協定」	昭和村 (2022年8月) ●「地域づくり連携協力に関する協定」	片品村 (2022年9月) ●「地域づくりに関する包括連携協定」	みなかみ町 (2021年2月) ●「地域社会づくり包括連携協定」		
渋川市 (2018年6月) ●「連携協力に関する協定」	嬬恋村 (2020年11月) ●「地域づくり連携協力に関する協定」					前橋市 (2020年11月) ●「地域社会づくり包括連携協定」	沼田市 (2019年3月) ●「連携協力に関する協定」	
玉村町 (2017年11月) ●「地域社会づくり連携に関する協定」	神流町 (2023年8月) ●「地域社会づくりに関する包括連携協定」					川場村 (2023年9月) ●「地域社会づくりに関する包括連携協定」		
榛東村 (2019年10月) ●「地域づくり連携協力に関する協定」	安中市 (2018年8月) ●「連携協力に関する協定」					みどり市 (2022年10月) ●「包括連携協定」	桐生市 (2023年12月) ●「地域社会づくりに関する包括連携協定」	太田市 (2024年10月) ●「包括連携協定」
※みどり市と桐生市と太田市の一部は両毛ヤクルト販売株式会社管内を含む								
南牧村 (2023年1月) ●「地域づくり連携協力に関する協定」	富岡市 (2018年9月) ●「地域社会づくり連携協力に関する協定」	吉岡町 (2020年7月) ●「吉岡町地域づくり連携協力に関する協定」	高崎市 (2017年9月) ●「健康づくりの推進に向けた連携協力に関する協定」	高崎市 (2021年12月) ●「包括連携に関する協定」	甘楽町 (2019年7月) ●「地域づくり連携協力に関する協定」	藤岡市 (2018年3月) ●「健康増進及び福祉向上に向けた連携協力に関する協定」		

※みどり市と桐生市と太田市の一部は両毛ヤクルト販売網様管内を含む

協定締結自治体における事業



頑張る女性の健康セミナー（高崎市）



脳活塾（渋川市）



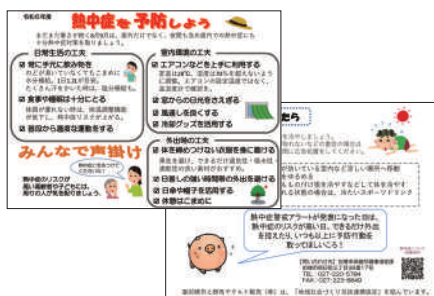
健康福祉まつり（川場村）

令和6年度 前橋市振興・社会貢献優良企業として表彰

「地域社会づくり連携協定」を締結している前橋市より、「地域住民の健康増進や、地域づくりに貢献している企業」として、表彰されました。表彰の際は、小川あきら 前橋市長がご来社くださり、塩谷社長へと表彰状が授与されました。



◆ 実施内容



ヤクルトスタッフによる熱中症対策チラシの配布



地域のこどものためのヤクルト子ども食堂の開催



高校生の「学び」と「仕事」のためのミライバシへ出席

健康経営優良法人2025 (ブライト500) について

2020年度から「健康経営優良法人(中小規模法人部門)」に認定されています。健康経営優良法人とは、経済産業省の日本健康会議から、「地域の健康課題に即した取り組みや健康増進の取り組みをもとに、特に優良な健康経営を実践している」として認められた企業です。

健康経営優良法人 ブライト500とは？

健康経営優良法人(中小規模法人部門)の中から「健康経営優良法人の中でも優れた法人」かつ「地域において、健康経営の発信を行っている企業」として優良な上位500法人のことであります。群馬ヤクルトは2021年度から、5年連続で認定されています。



認定基準

健康経営優良法人の中でも優れた企業であることを重視し、選択項目15項目中13項目以上適合していることを条件とする



以下のウエイトで配点し上位500法人を選定する

分類	ウエイト
健康経営の評価項目における適合項目数	6
健康経営の取り組みに関する自社からの情報発信	3
健康経営の取り組みに関する外部からの依頼による情報発信	1
PDCAに関する取り組み状況	8
経営者・役員の関与の度合い	2

健康経営活動の取り組み事例

◆ なりたい自分になろう！90日チャレンジ！！

従事者が健康的にいきいきと活躍できるよう、管理栄養士による健康プログラムを実施しています。週に1度のチャレンジミーティングを開催し、自分に合った健康習慣を見つけ、実生活の中で挑戦・継続していただきます。昨年度に引き続き、日頃ヤクルトのお届けをしているヤクルトスタッフに対しマンツーマンで実施しました。

8期生2024年4月～7月



一人では難しかったダイエットも、目標を決めて出来ることから少しずつ始められました。「痩せる」とは無縁だと思っていたので、参加できて良かったです。これから維持できるように、生活していきたいと思います。

◆ 従事者向け健康セミナー

管理栄養士による、内勤従事者向けの健康セミナーも今年で8年目を迎えました。今回のテーマは「血圧と減塩について」で、高血圧予防のために、食事をとる上でのポイントをお伝えしました。管理栄養士メンバーで調理した「豚汁」は、1日の1/3の野菜を使用し、栄養たっぷりで参加した社員からも大変好評でした。



総務部による健康経営の説明



健康セミナー「血圧と減塩について」



野菜と肉のうまみたっぷりの「豚汁」

今回は初の試みとして、明治安田生命保険相互会群馬支社様による、血管年齢測定、ベジチェック測定、最終糖化物質測定を行い、従事者の健康を振り返るよいきっかけとなりました。



健康経営の推進について

健康経営優良法人認定企業様への提案活動事例

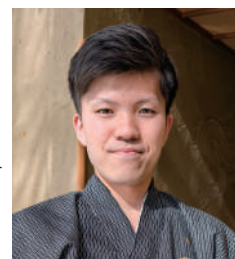
【初申請・初認定】新規健康経営優良法人(中小規模法人部門) ネクストブライト1000認定法人のご紹介



◆ 株式会社旅館たにがわ 様



当社は以前よりスタッフの心と身体の健康なくしては、お客さまに感動して頂けるおもてなしは出来ないと働き方改革を始め自社での取り組みを行ってまいりましたが、専門の方より健康教室のご指導を頂いたり、取り組みを数値化したりするまでには至っておりませんでした。この度群馬ヤクルト様とのご縁を頂き、大変手厚いご支援と睡眠をテーマとした健康教室で心と身体のケアや、生活習慣の見直しをご指導賜りました。健康経営に取り組んでいるエビデンスとなる数値化を実現することもでき、具体的には健康診断受診率の向上、社内外への取り組みの見える化等を行え、健康経営優良法人認定の為にチェック項目を埋める事が出来ました。今後もブライト500を目指して更なる健康経営を進め、スタッフの心と身体の健康を守り、お客さまに感動して頂けるおもてなしを行いたいと考えております。



株式会社旅館たにがわ
岡村竜輝 様

健康経営優良法人(大規模法人部門)認定法人にて健康教室の開催



◆ 東日本旅客鉄道株式会社 様



東日本旅客鉄道株式会社
高崎支社
村木康行 様

当社は「会社の持続的な成長の基盤は社員一人一人の健康である」という認識のもと、健康経営を推進しております。そのような中で今回群馬ヤクルトさまよりお声がけいただき、血管年齢測定及び健康教室を開催いたしました。健康教室では「睡眠で疲労回復」をテーマに睡眠の大切さについて学ぶとともに、その期間に当社内で開催されていたウォーキングイベントで役立つ、正しい姿勢での歩き方についても伺うことができました。2つのイベント共に自分自身の健康について考える良い機会となり、参加した社員からも大変好評でした。今後もこのようなイベントを企画し、健康を意識しながら社員が元気に働いていける取り組みを続けていくとともに、会社として健康経営優良法人の継続認定を目指してまいります。



◆ 株式会社中島自動車電装 様



株式会社中島自動車電装
代表取締役
中島朗 様

当社が健康優良法人申請に向け取り組んだきっかけは、群馬ヤクルト様とのご縁から始まりました。もともと当社は健康に対する社内の意識が高く、普段から行っていることを認めていただくので、申請に対するハードルは低かったように思います。また、フォローをしてくださった担当の鈴木様や他の皆さまの的確なサポートのおかげで、スムーズに取り組むことができました。まず社内全体の問題点を把握するために、Googleフォームを使用して社員全員を対象にアンケートを行いました。こちらのアンケートのフォローもヤクルト様にご協力いただき、他社の取り組みを参考にしながら質問事項を厳選することができました。その結果、会社としての具体的な問題点が明確になり、目標を絞り込むことができました。多くの社員が睡眠に関する問題を抱えていたため、今年度は睡眠に関するセミナーを開催しました。その他の取り組みとして、社内ジムの活用推進、朝礼時のラジオ体操、NHKラジオ健康ライフの視聴などを毎日行っています。これらの積み重ねにより、社員全体の健康意識がさらに高まり、情報も入りやすくなり、日常生活に取り込みやすい環境が整いました。健康は一生に渡り大切なものですので、社員が一丸となって続けていくことが重要だと考えています。

◆ 西澤工業株式会社 様



当社が健康経営優良法人という認定制度を知ったのは、ゼネコンの安全大会に出席した時でした。そこでは群馬ヤクルト様が血管年齢を測定や健康セミナーを開催していました。弊社も会社のイメージアップや福利厚生にもつながるのではと思い、なにもわからないところからひとつずつ群馬ヤクルト様の支援を受けて健康経営優良法人の認定を目指しました。まずは社員ひとりひとりの意識を変えるために、腸についてのセミナーを開催したり、健康に関する情報誌を社員の目の付くところに掲示して健康に関して社員の意識付けを行いました。その結果健康経営優良法人の認定を受けることができました。今回の認定を受けるための準備をして感じたのは、社員ひとりひとりが健康であることで、仕事の品質を保ち、それが会社全体の信用につながるということです。今後私自身も健康経営アドバイザーの資格取得を目指し、健康宣言のとおり健康に対する継続的な活動をしていきたいと考えています。



西澤工業株式会社
常務取締役
小須田啓子 様

◆ 2024年度健康経営提案企業数

提案法人・企業
 **93** 社 **113** 提案

支援内容

- 健康経営優良法人認定サポート
- 職場の応援DAY
- 健康教室
- ヤクルトスタッフ訪問
- 福利厚生
- 乳酸菌自動販売機

◆ 2024年度健康経営優良法人認定支援企業数

健康経営優良法人2025新規認定

中小規模法人部門
 **12** 社 (内ネクストブライト1000 **1** 社)

健康経営優良法人新規認定企業

中小規模法人部門(ネクストブライト1000)	株式会社旅館たにがわ	
中小規模法人部門	株式会社旅がらす清月堂本舗	株式会社荻野製作所
	株式会社西健	西澤工業株式会社
	株式会社中島自動車電装	株式会社オオタヤ
	アサヒライズ株式会社	株式会社The New Gate
	ペロフジャパン株式会社	稲村建設株式会社
	アサヒアクシス株式会社	

◆ 健康経営優良法人中小規模法人部門の群馬県の認定数(2025年度)

2024年
 **288** 社

2025年
354 社

増加率
123 %

◆ 職場の応援DAY



◆ 令和6年度かさかけ商工フェア



新規事業・サービス展開 ＊ヘルスケア・プラットフォーム構築に向けて

◆ 歩くプラットフォーム「ポールウォーキング事業」検証

ポールウォーキングを通じ、「新たな人と人とのつながり」、「新たな居場所づくり」を行なうことで地域課題解決に向けた検証（フレイル予防効果等）

◆ 実績

- ポールウォーキング1日体験会

- 資格取得セミナー開催

一般社団法人日本ポールウォーキング協会認定コーチ養成



実施回数

91回

参加者

1,281名

ベーシックコーチ研修会

7回 15名

アドバンスコーチ研修会

1回 1名

- ポールウォーキングサークル運営



運営

10か所

①沼田ハッピーポール ②エンジョイポール榛名 ③ひまわりなごみポール ④中居ポールウォーキング教室 ⑤いーすとポールクラブ ⑥六郷長寿センターサークル ⑦総社町5号公園教室 ⑧しきしま老人福祉センターサークル ⑨おおとも老人福祉センターサークル ⑩前橋江木町サークル

～誰でも自由に参加できるポールウォーキングサークル～



総社町5号公園教室



しきしま老人福祉センターサークル



おおとも老人福祉センターサークル

◆ しきしま老人福祉センター

今回、御社との連携協定締結をご縁に「ポールウォーキング体験会」を開催できたことに深謝申し上げます。ご利用者様から好評であり、しきしま・おおとも両老人福祉センターで生涯学習の自主クラブとして活動が続いております。老人福祉センターは、ご利用者様が「住み慣れた地域で健康的にいきいきと生活ができる」よう、健康づくり・生きがいづくり事業に取り組んでまいりましたが、これは弊会の使命「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」という理念が根底にあるからです。御社の使命「一人でも多くのお客さまに健康と美をお届けすること」と弊会の使命には「健康増進・居場所づくり」という共通要素がありますので今後ともよろしくお願いいたします。



社会福祉法人前橋市社会福祉協議会
高齢福祉課 課長(兼)
前橋市しきしま老人福祉センター
所長

石井順子 様

◆ ポールウォーキング参加者の声



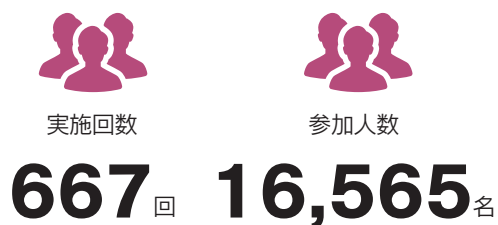
山田隆義 様

私は65歳で退職して現在は家庭菜園をしています。ポールウォーキングとの出会いは、令和5年4月に行われた杉浦伸朗先生の「歩き方教室」です。ヤクルトレディから誘われて参加しました。以前からウォーキングはしていたのですが、女房から「歩き方が下ばかり見ていて姿勢が悪い」と注意されていました。教室で先生やコーチが背筋を伸ばして歩く姿に感動してポールウォーキングを始めることにしました。テラス沼田でサークルがあると聞いて参加することになりました。サークルでは近況報告やポールウォーキング、筋トレ、脳トレゲームなどをして楽しく過ごしています。それ以来こんなにちまで続けています。最近では近所に住む先輩もお誘いして充実した日々を過ごしています。今後も優先して都合をつけて参加して健康寿命を延ばしたいと思います。

健康教室について

自治体や社会福祉協議会と連携し、地域の健康づくりとして無料の健康教室を実施しています。サロンや公民館等における地域活動や教育機関、企業、医療従事者などさまざまな対象の方に向けて健康をお届けしています。

◆実績



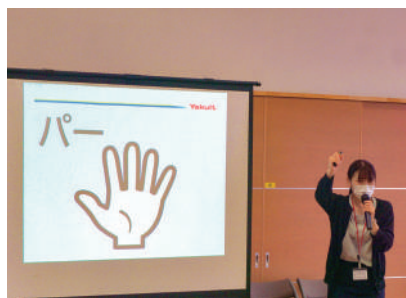
実績内訳

	地域活動	教育機関	企業・教職員	専門機関
実施回数	517回	67回	73回	17回
参加人数	8,743名	5,225名	2,047名	453名

地域活動

高齢者の方でも「楽しく!」「健康増進に繋がる!」ように、クイズ・脳トレ・簡単な腸体操などを入れて実施しています。

◆いきいきサロン・老人会・公民館・保健センター等



脳トレ



模型で腸の長さを確認



腸体操

教育機関

おなかの仕組みや規則正しい生活の重要性などを伝える教育支援プログラムを実施しています。腸模型やクイズを取り入れながら「健康の大切さ」や「食の大切さ」を楽しく伝えています。



5・6年生の児童に、『おなか元気教室』を実施していただきました。

子どもたちは初めに、食べたものが体の中のどこを通り、どのようになってうんちとして出されるのかを学びました。小腸が6メートル、大腸は1.5メートル程もあるということを模型で学び、子どもたちはその長さに驚いていました。そして、よいうんちはどんなものなのか、よいうんちを出すにはどうすればよいのかを学びました。本校のアンケートをもとに、よいうんちを出すには、夜早く寝る朝型の生活リズムが大切であるということを知りやすく教えてもらいました。寝る時間が遅い児童や排便リズムが安定していない児童も多く、『早寝早起き朝ご飯、朝うんち』を頑張っていきたいと感じた児童が多くいました。終わった後に、学んだことを保護者の皆さんに伝え、家庭でも生活リズムについて話し合えたことも大変よかったようです。この度は、どうもありがとうございました。



高崎市立北部小学校
保健主事
木本陽子 様

専門機関

医療従事者の皆さまに向けて『腸こそ健康の源～広がる「乳酸菌 シロタ株」の可能性～』をテーマに、研究データを用いながら「乳酸菌 シロタ株」の健康効果をお伝えしています。今年度は職場の健康増進にも日頃から力を入れている各病院・施設等での院内研修やNST委員会、衛生委員会等さまざまなシーンでご活用いただきました。

実施機関

- 産婦人科館出張 佐藤病院 ●医療法人 前橋北病院 ●社会福祉法人恩賜財団 済生会 群馬県済生会前橋病院
- 特定医療法人 群馬会 群馬病院 ●群馬ペインクリニック病院 ●医療法人社団 醫光会 駒井病院
- 医療法人松沢会 希望館病院 ●公立碓氷病院 ●医療法人日高会 日高リハビリテーション病院 ●医療法人済恵会 須藤病院
- 医療法人誠和会 正田病院 ●社会福祉法人 新生会 ●群馬県看護協会・看護連盟合同藤岡地区支部

院内研修

◆ 医療法人松沢会 希望館病院

プロバイオティクスの持つ免疫機能や神経系の調節機能、睡眠との関係など、とても興味深いお話を伺うことができました。中でも、実際の医療現場で応用された小児外科疾患患児へのシンバイオティクス療法のVTRはとても印象に残るものでした。小児外科領域以外でも成果が出始めていると聞き、今後ますますシンバイオティクスの応用が広がっていくことが期待されると実感しました。普段なかなか踏み込んで学ぶ機会がなかったので、このような場をご提供頂き感謝いたします。



袋瀬麻衣子 様(管理栄養士) 曾根千晶 様(管理栄養士／老健)
高橋なおみ 様(管理栄養士) 周藤百合子 様(管理栄養士／栄養科長)
石原沙奈 様(管理栄養士) 小松倫子 様(管理栄養士／訪問)

NST(栄養サポートチーム)メンバーによる栄養管理委員会

◆ 社会福祉法人 恩賜財団 群馬県済生会前橋病院



栄養士長
宮崎純一 様

栄養管理委員会にてNSTメンバーにも感心の高い腸内細菌について健康教室を開催させていただきました。メンバーからは、「腸内での活動状況が目に見えて分かって良かった。」「ヤクルトを購入する際の参考になった。」などの意見が聞かれました。また乳酸菌 シロタ株の、患者さんに対して役立つ効果としては、整腸作用、免疫調節作用、睡眠・ストレスの作用などの意見が多かったです。Yakult1000のお土産もいただき、試飲した結果のアンケートからも、「体のだるさが少し良い気がする。下痢や便秘がない。」といった意見もあり、効果を実感できた様子でした。献立にも以前からヤクルトは使用しているので、今後も患者さんの栄養管理、そして、健康教室での内容を職員に向けても発信し、病院全体の健康経営の一助になるよう努めたいと思います。

衛生委員会

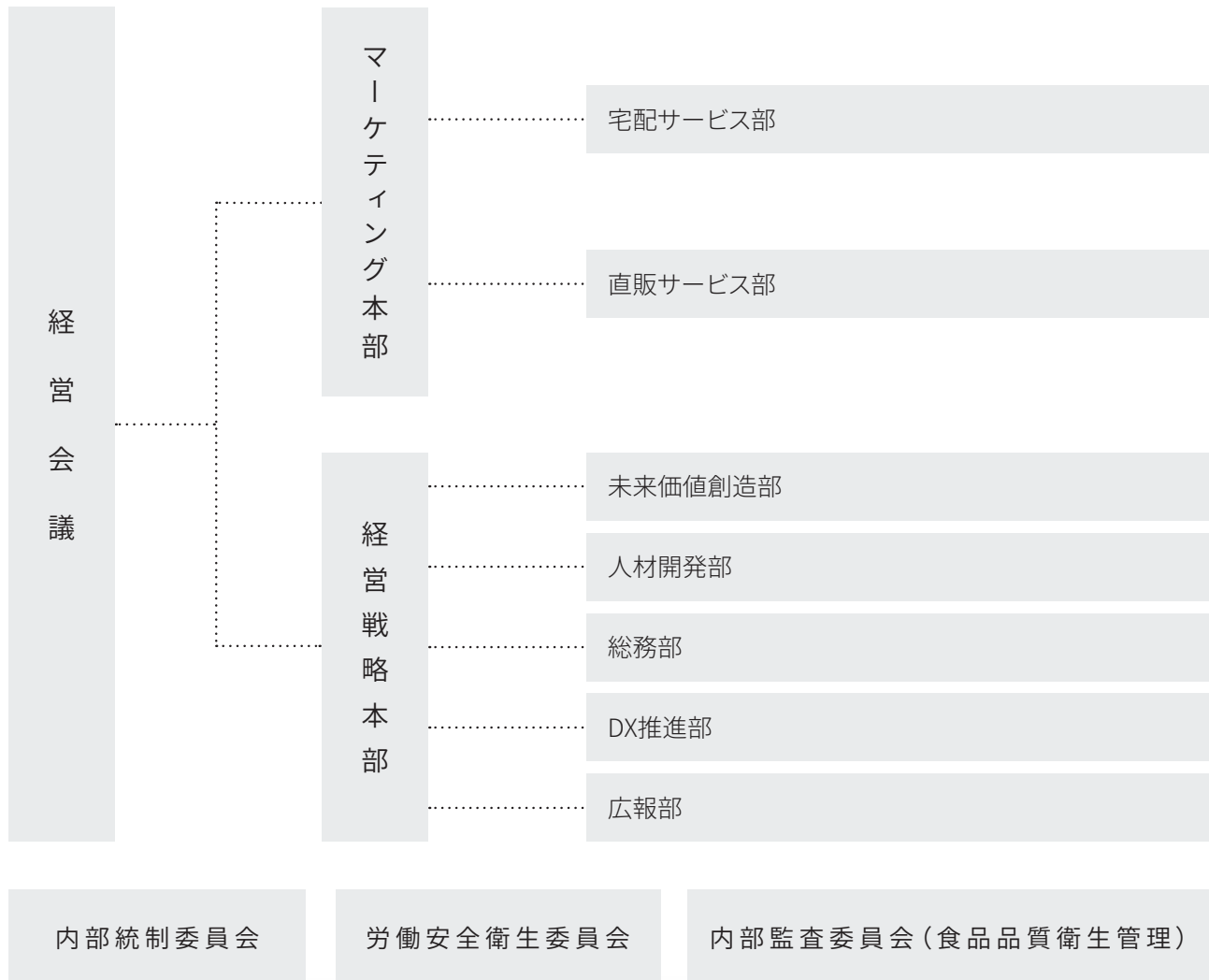
◆ 社会福祉法人新生会

新生会とは敷地内に11ホームをはじめ診療所や温泉付きウエルカムセンターなど多彩な施設で連携しています。8月の衛生委員会でヤクルトさんからセミナーを開催して頂きました。職員からは『とても分かりやすく楽しく自分の健康を考えるいい時間になった』『居住者にいいサービスするためには自分が健康でないと』という声を頂きました。今回をきっかけに、私が所属している施設でも看護師と共同企画として、ヤクルトさんと連携し、居住者対象に健康教室を開催していきます。居住者の皆さまとの関りを持てる機会を与えて下さったヤクルトさんに感謝しております。居住者の皆さまが健康で毎日楽しく生活できるようにサポートしていけたらと考えております。



管理栄養士 坂口ひろみ 様(左)
看護師 北神麗良 様(中央)
看護師 竹内智子 様(右)

2024年度 組織図



宅配サービス部

地域に健康をお届けするヤクルトスタッフ

宅配サービス部は、日々のお届けを通じて、お客さまの健康を守る部門です。新たな価値提供を目指し、サービスの品質向上に取り組みます。地域密着型のヤクルトスタッフのネットワークを活かし、お客さまの信頼関係を構築し、健康で豊かな生活を応援します。総勢740名の社員とヤクルトスタッフが地域の皆さんにヤクルト商品を通じて健康をお届けしています。乳製品や化粧品など、宅配専用商品を各家庭やオフィスへお届けし、対話を通じて健康情報などもお知らせします。地域の健康教室などのイベントにも参加し、健康づくりに貢献しています。お客さまとのつながりを大切に、健康と笑顔をお届けします。



会社データ

地域の見守り活動を実施しています

お客さまだけでなく地域の見守り役として共助社会の担い手になるため、振り込め詐欺防止や地域包括支援センターの情報提供、孤立高齢者への接し方・対応方法なども盛り込んだ認知症サポーターとしての研修を受けています。



前橋東SC

ビジョン2035

直販サービス部

いつでも、どこでもヤクルトのある生活をめざして

直販サービス部は幅広いチャネルを通じて、地域の皆さまに直接ヤクルト商品をお届けする役割を担います。いつ・どこにいてもヤクルト商品を手に取っていただける環境づくりから、“地域の生活者”に寄り添ったさまざまな価値普及活動を実践し、地域の皆さまの健康生活にお役立ちします。



トピックス

◆ ベンディング課

自動販売機（ベンディング）の納品および管理業務を担当し、お客さまからの要望や売上データの分析から最適な商品ラインナップ、「乳酸菌 シロタ株」の価値普及、各種キャンペーンの紹介など、ルート営業としてお客さまの健康へのお役立ちを行います。

◆ 量販課

市場動向や店舗ごとの売上データの分析を行い、最適な商品企画の提案により、担当店舗の売上向上を図ります。店舗との関係を深め、平台での商品展開やYHA（ヤクルトヘルスアドバイザー）による店頭価値普及を行います。

◆ 給食課

学校、病院、福祉施設等へ、安全で栄養バランスの取れた給食に役立つヤクルト商品の提案と、品質管理を徹底し、安全・安心を確保して納品業務を行います。新たな給食市場の開拓と、付加価値のあるサービスを展開します。

部門紹介

—— 経営戦略本部

未来価値創造部

未来価値創造部は、健康経営の推進や新たな価値創造を通じて、企業と社会の持続的成長を支援する部門です。健康づくりや働き方改革を促進し、企業の生産性向上やブランド価値向上に貢献。市場調査や新規事業開発にも取り組み、社会的課題の解決を目指した革新的なソリューションを提供します。従業員の健康と企業の成長を両立させ、未来に向けた価値を創出することを使命としています。



人材開発部

人材開発部は、企業の成長を支える「人」の育成と働きやすい環境づくりを推進する部門です。採用活動や研修の企画・運営を通じて、社員一人ひとりの能力向上をサポートするとともに、公正で快適な職場環境を整えます。群馬ヤクルトならではの企業文化を大切にしながら、働く人々の成長を支援します。



総務部

総務部は、企業の円滑な運営を支える管理部門として、組織全体のサポートを担います。社内の環境整備、財務・会計管理、福利厚生の充実を通じて、社員が安心して働ける職場づくりを推進します。



DX推進部

DX推進部には「業務課」「販売管理課」「DXビジョン推進課」の3つの課があります。3つの課はそれぞれ業務が異なりますが、共通の役割として、全社の業務の仕組み化・IT化・ITリテラシーの向上による生産性の向上や、従事者の業務が円滑になるようにバックオフィスとしての役割を担っています。



広報部

広報部は「ブランド価値向上」を目的に、社内外の情報発信を担う部門です。企活動や商品・サービスの魅力を伝えるだけでなく、地域社会との連携を強化し、「群馬県民の健康寿命延伸」への貢献を通して、企業の社会的価値を高め、企業の持続的成長を支えます。

